

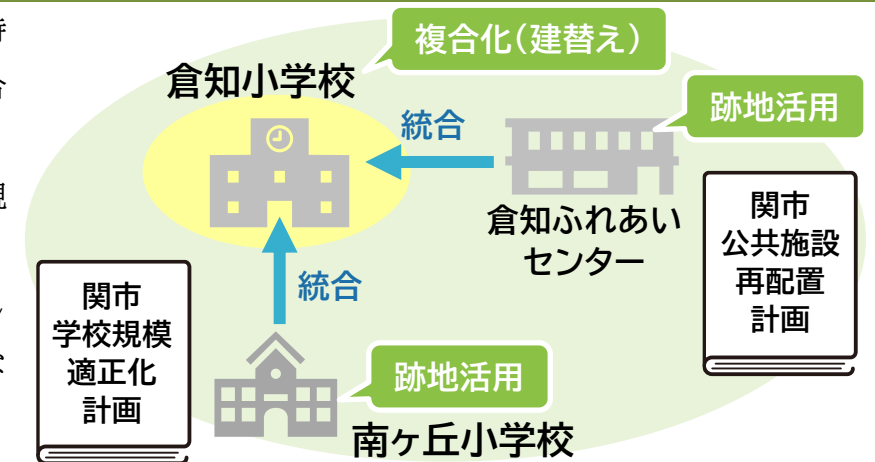
倉知小学校等複合化施設整備事業基本構想【概要版】

第1 はじめに（策定の背景）

関市では、少子高齢化と人口減少社会を迎え、福祉のための予算が拡大する一方で、今後厳しい財政状況となることが見込まれるため、持続可能な公共施設サービスの実現に向けて「関市公共施設再配置計画」を平成 28 年 3 月に策定し、倉知小学校と倉知ふれあいセンターを統合する方針としました。

また、本市においても半数以上の小・中学校が標準規模を下回る状況にある中、望ましい学校規模の適正化を進めていくため「関市学校規模適正化計画」を令和6年12月に策定し、倉知小学校と南ヶ丘小学校を再編する方針としました。

こうした背景から、令和 11 年度の使用を目指して、倉知小学校の敷地内に倉知小学校、倉知ふれあいセンター及び南ヶ丘小学校を統合した、新たな公共施設（以下「本複合化施設」といいます。）を整備するにあたっての基本的なコンセプトや機能、概算事業費、スケジュールなどを示した「倉知小学校等複合化施設整備事業基本構想（以下、「本基本構想」といいます。）」を策定します。

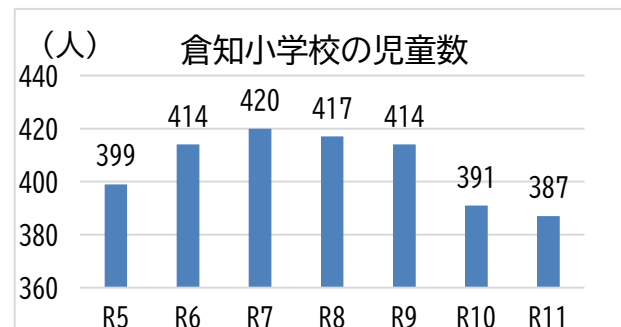


第2 既存施設の現状と課題

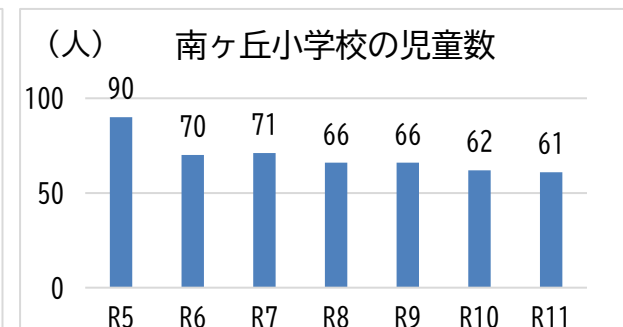
【現 状】

- ①倉知小学校及び倉知ふれあいセンターは、建築後 50 年を経過しており、改築時期を迎えています。
- ②倉知小学校、南ヶ丘小学校ともに、今後は児童数が減少していく予測です。※1
- ③倉知ふれあいセンターはコミュニティ交流拠点として、住民等で様々な活用がされています。※2
- ④倉知小学校及び倉知ふれあいセンター周辺では、比較的人口が多く、また年少人口の割合が大きい状況にあります。南ヶ丘小学校周辺では、比較的人口が少なく、また老年人口の割合が大きい状況にあります。
- ⑤倉知小学校及び倉知ふれあいセンターは、都市計画マスタープランにおいて、快適な居住環境整備を行うとしている地域にあり、近傍に倉知保育園や大型ショッピングセンター（マーゴ）があります。また、南ヶ丘小学校は、都市計画マスタープランにおいて、文教・福祉地区として維持・保全等を図ることとしている地域にあり、近傍に学校施設や福祉施設などの公共施設があります。なお、倉知小学校、倉知ふれあいセンター及び南ヶ丘小学校のいずれも 第1種中高住居地域にあります。
- ⑥学校施設整備にあたっては、「柔軟で創造的な学習空間づくり」、「新しい生活様式を踏まえた学習・生活空間づくり」、「地域や社会との協働」などのほか「教職員の働く場としての機能向上」が求められています。
- ⑦小学校と地域コミュニティ施設の複合化事例をみると、防犯対策等を施した上で小学校と地域コミュニティ施設の各機能において相互活用が図られています。（会議室、調理室、音楽室、体育館など）

※1 倉知小、南ヶ丘小の児童数の推移



(人) 南ヶ丘小学校の児童数



※2 倉知ふれあいセンターでの「ふれあいマーケット」の様子



出典：倉知ふれあいだより第76号

【課 題】

- ・本複合化施設の整備にあたっては、安全性とセキュリティ対策に配慮した上で“小学校”と“ふれあいセンター”の連携強化により、より良い学習環境の構築と地域交流の活性化を図り、地域魅力を向上させていくことが課題です。
- ・倉知ふれあいセンター及び南ヶ丘小学校の跡地活用にあたっては、それぞれの地域特性にあった活用により、定住促進や静かで安心できる生活環境を維持していくことが課題です。

第3 市民等の意向

市民ワークショップ、教職員及び PTA 役員へのアンケート調査などによって、市民等の意向を把握しました。

1 市民ワークショップ

公募により自主的に参加された倉知小学校又は南ヶ丘小学校の校区にお住まいの方々を中心に、各回において設定したテーマについて 4 つのグループに分けて話し合いを実施しました。



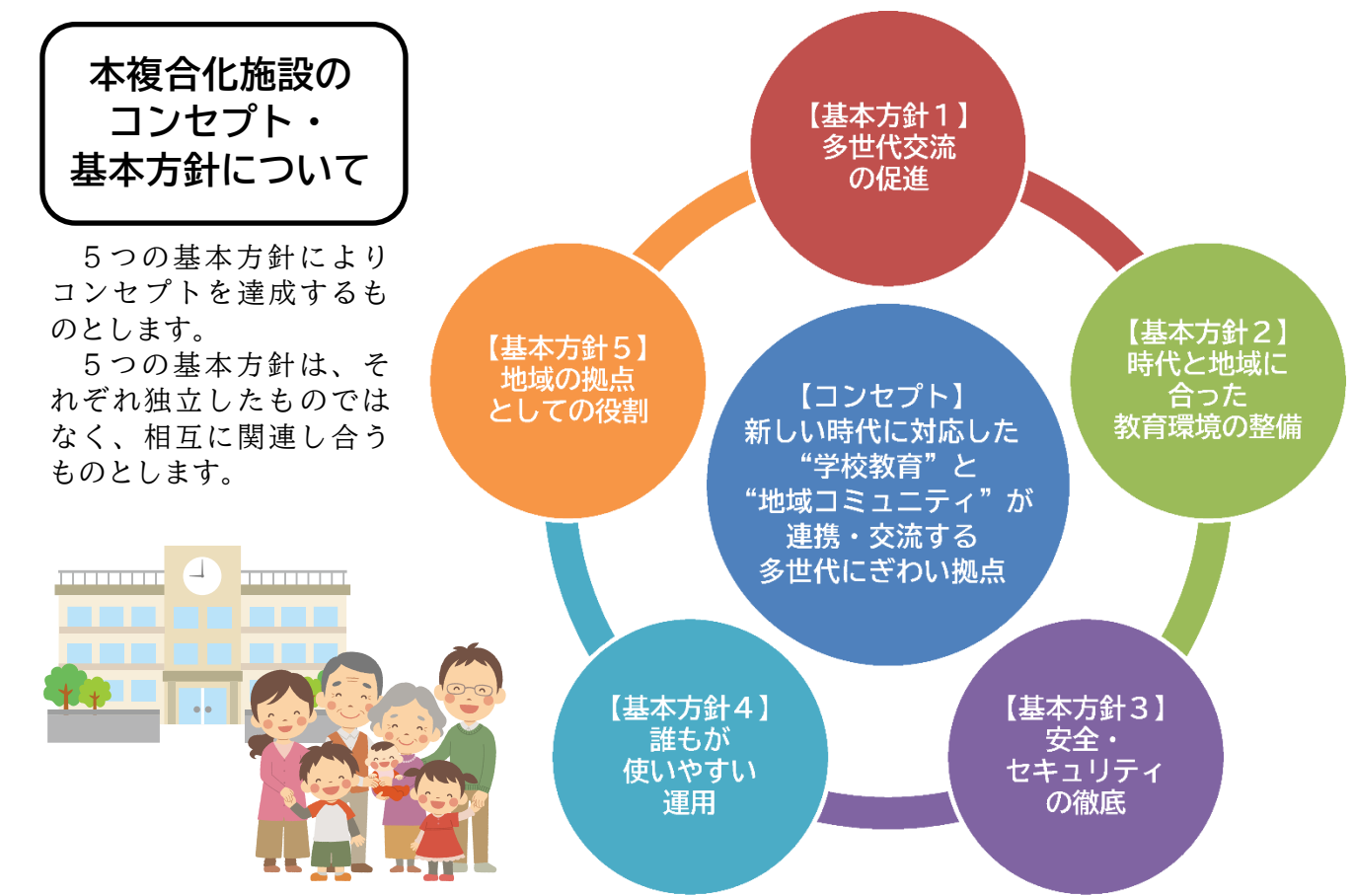
【市民ワークショップの開催概要】	
第1回	【テーマ】複合化施設に対する想いを語ろう (令和6年9月14日(土)13:00～16:00 参加者人数：23名) 「全世代の方が使いやすい」「地域コミュニティと教育活動の共存」「子どもたちと地域の方が活発に交流できる」など地域の拠点施設として、地域と子どもの交流が深まることへの期待の声がある一方で、安全面や防災など不安の声も上がりました。
第2回	【テーマ】複合化施設の必要な機能を考える (令和6年10月19日(土)14:00～16:00 参加者人数：27名) ふれあいセンターの機能としては「PTA 会議としても利用できる会議室」「児童と地域のふれあいができる多目的室」「児童の作品が展示できるホール」、小学校の機能としては「一般の人でも利用できる図書館」「料理教室としても利用できる家庭科室」「大人が児童に日曜大工を教えられる図工教室」など、学校教育と地域コミュニティが連携・交流するような、それぞれの施設の相互利用や共同利用を想定した意見が出されました。
第3回	【テーマ】複合化施設のゾーニングと活用イメージを考える (令和6年11月16日(土)14:00～16:00 参加者人数：25名) 第2回ワークショップで検討した必要な機能（部屋）について、機能のレイアウトを議論し、グループごとに発表しました。 機能のレイアウトを議論する中で「学校とふれあいセンターで共有する機能は、小学生もふれあいセンター利用者が利用しやすい位置にする必要がある」「駐車場は100台ほしいけど、限られた敷地の中では学校の機能や配置を優先で考えたい」「段差をなくすなどバリアフリーの対応が必要」などの意見が出されました。

2 教職員・PTAアンケート

倉知小学校の教職員（N=20）及び PTA 役員（N=7）並びに南ヶ丘小学校の教職員（N=13）及び PTA 役員（N=6）を対象として、アンケートにより本複合化施設の整備に関する意向を伺いました。

第4 複合化施設の整備方針

1 コンセプト・基本方針



基本方針① 多世代交流の促進 社会と連携・協働した教育活動を充実させるため、地域住民等と連携した多世代交流の促進を図ります。
基本方針② 時代と地域に合った教育環境の整備 教育活動のさらなる推進のため、ICT 環境の充実やふるさと教育の充実のための時代と地域に合った教育環境の整備を行っていきます。
基本方針③ 安全・セキュリティの徹底 リスクに適切に対応し安全・安心な施設利用ができるよう、また、管理の上で教職員等の負担にならないよう、施設整備において安全・セキュリティの徹底を図ります。
基本方針④ 誰もが使いやすい運用 快適な学習環境、執務環境、利用環境の確保のほか、施設のバリアフリー化等に配慮し、各利用者の特性に合わせた誰もが使いやすい運用ができる施設とします。
基本方針⑤ 地域の拠点としての役割 地域住民にとっても身近な公共施設として、まちづくりの核、生涯学習の場としての活用を一層積極的に推進するための地域の拠点としての役割を担うものとします。

2 機能・配置の考え方

機能及び配置は、市民等の意向（前述の市民ワークショップや教職員・PTA アンケート結果を含む）や「小学校施設整備指針（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部）」に基づき、今後詳細に検討していくものとします。本基本構想では、主な配慮事項等について示します。

(1) 機能の考え方

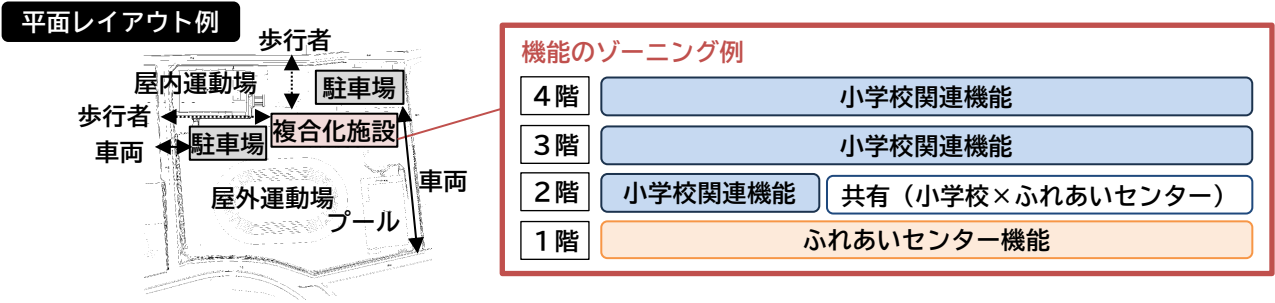
- ① 小学校機能については、時代と地域に合った教育環境の実現のために適した教室環境といった機能を確保します。また、教職員が効果的・効率的に授業等ができるよう、執務環境としてふさわしい機能を確保します。
- ② ふれあいセンター機能については、現在行われている取組みとともに、様々な人の交流や新たな活動が生まれる場所としての機能を確保します。
- ③ 児童の学習・生活や安全性に支障のないことを前提として、小学校とふれあいセンターのそれぞれの機能の相互利用、共同利用等ができるようにします。
- ④ 駐車スペースにおいては各施設の利用者数を考慮の上、不足がないよう確保します。
- ⑤ 可動間仕切りを設けるなど可変性を有した機能を検討します。
- ⑥ ZEB 水準の省エネルギー性能の確保を目指します。

【主な諸室等の一覧（案）】

小学校	普通教室等（18教室）、少人数指導教室、通級指導教室、特別支援学級教室、留守家庭児童教室、理科室、音楽室、図工室、家庭科室、図書室、多目的室、放送室、配膳室、校長室、職員室、保健室、トイレ、駐車場
ふれあいセンター	事務室、和室、多目的室、ホール、会議室、休憩・フリースペース、ワークスペース、カフェ等、茶室、倉庫、トイレ、駐車場

(2) 配置の考え方

施設の配置については、①施設環境（日照、採光、通風、換気、室温、音の影響等）、②アクセス性、③安全・セキュリティ対策、④整備期間中の措置（仮設校舎の計画）などに配慮して計画します。

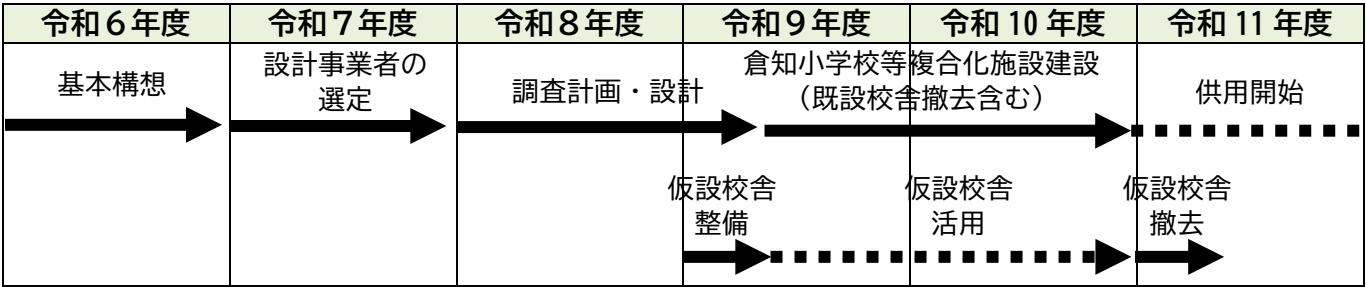


第5 本複合化施設に係る概算事業費等

1 概算事業費（基準年度：令和7年度）

設計費・建設費	：5,812,908千円（設計監理費150,000千円、工事費5,662,908千円）
維持管理費	：8,157千円／年間

2 整備スケジュール（現時点で想定する最短スケジュール）



※工事内容や事業の進捗により変更となる場合があります。

第6 南ヶ丘小学校・倉知ふれあいセンターの跡地活用方針

跡地活用のアイデアについて、前述の市民ワークショップの参加者等に意見を伺いました。

【跡地活用に関する市民等の意見】

●倉知ふれあいセンターの跡地活用についての意見	●南ヶ丘小学校の跡地活用についての意見
・エコボックス等の設置 ・倉知保育園等の駐車場 ・倉知公民センターへの譲渡 ・子どもの遊び場など ・診療所・病院など ・地域の人が集まれる場所 ・老人ホーム等の高齢者のための施設 	・喫茶店など ・公民館 ・子どもの遊び場など ・宿泊施設 ・関商工の移転 ・地域の人が集まれる場所 ・フリースクール ・ふれあい教室 ・プール利用 ・民間企業に売却 ・老人ホーム等の高齢者のための施設 

なお、具体的な跡地活用の方法については、引き続きまちづくりの方針や市民や民間事業者の意向などを踏まえて検討していきます。

第7 今後の課題

(1) 施設整備内容の具体化

本基本構想では、市民ワークショップや教職員・PTA アンケート等を実施の上で、複合化施設整備にあたってのコンセプトや基本方針をとりまとめました。

今後は、本基本構想におけるコンセプト、基本方針をもとに施設整備内容の具体化を検討していきます。なお、施設整備内容の具体化にあたっては、学校教職員アンケートにおいて、施設整備に関して意見をしっかり反映してほしいとの要望が多数あったことなどを踏まえて、適宜意見交換の場を設けながら進めていきます。

(2) 市民等に対する継続的な情報提供

本複合化施設の整備に関して、学習環境や防犯、通学の面において不安視する意見などが一定数見受けられることから、引き続き対策を検討した上で情報を提供していきます。

(3) 南ヶ丘小学校・倉知ふれあいセンターの跡地活用検討

前述のとおり、倉知小学校等複合化施設の整備に伴い、倉知ふれあいセンター及び南ヶ丘小学校については機能廃止することから、跡地活用の方針を検討していきます。